

Quest™



KACE®システム管理アプリケーション8.0

リリースノート



目次

Quest® KACE®システム管理アプライアンス8.0リリースノート	3
KACEシステム管理アプライアンス8.0について	3
新機能と強化点	3
サービスデスクおよびユーザーコンソール機能	3
資産管理機能	5
デバイス通信機能	6
インフラストラクチャ機能	6
製品の再ブランディング終了	7
解決済みの問題	7
既知の問題	9
システム要件	10
サポート終了に関するお知らせ	10
「制限付きサポート」と「サポート終了」の違いについて	11
製品ライセンス	12
インストール手順	12
更新の準備	12
アドバタイズされたアップデートを使用したKACE SMAサーバのアップデート	13
アップデートの手動によるアップロードと適用	13
アップデート後のタスク	14
正常に完了していることの確認	14
セキュリティ設定の確認	15
追加のリソース	15
グローバル化	16
当社について	16
名前を超える存在	16
当社のブランドとビジョンと、ともに。	16
Questへのお問い合わせ	17
テクニカルサポートのリソース	17
法的情報	17

Quest® KACE®システム管理アプライアンス8.0リリースノート

このリリースノート文書は、KACEシステム管理アプライアンス (SMA) バージョン8.0 (8.0.317) に関する情報を提供します。

KACEシステム管理アプライアンス8.0について

KACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、デバイスの管理、アプリケーションの展開、パッチ適用、資産管理、サービスデスクチケット管理などを自動化するための、物理 / 仮想アプライアンスです。KACE SMAシリーズアプライアンスの詳細については、<https://www.quest.com/products/kace-systems-management-appliance/>をご覧ください。

新機能と強化点

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下の機能と拡張機能を備えています。

- サービスデスクおよびユーザーコンソール機能
- 資産管理機能
- デバイス通信機能
- インフラストラクチャ機能
- 製品の再ブランディング終了

製品の新しい機能の詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。

サービスデスクおよびユーザーコンソール機能

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下のサービスデスクおよびユーザーコンソール機能と拡張機能を備えています。

- サポート技術情報エディタ拡張機能。サービスデスクコンポーネントに関連付けられているサポート技術情報 (KB) は、エンドユーザーにセルフヘルプ情報を提供できます。ユーザーは、KACE SMAユーザーコンソールからKB記事を検索して表示できます。このリリースから、リッチテキストエディタが組み込ま

れ、サードパーティのHTML編集ツールを使用しなくてもコンテンツの形式を簡単に設定できるようになりました。新しいエディタのサポート：

- 太字、下線、イタリックなどの標準のフォントスタイル
- フォントの色の変更
- ビュレット付きおよび番号付きリスト
- 埋め込みハイパーリンク機能
- 添付および外部画像インラインの編集機能
- 内部ネットワークやYouTubeなどの外部サイトでホストされるビデオコンテンツを埋め込む機能

i **注:** 新しいエディタが追加され、以前のMarkdown形式がサポートされなくなりました。8.0へのアップグレード後、既存のKB記事内のMarkdownコンテンツはHTMLに変換されます。バックアップとして、オリジナルのレガシーコンテンツは、OLD_MARKDOWN_NOTEデータベースフィールドに保存されます。古いKB記事を移動するには、古いフィールドからデータベースを実際の新しいフィールドにコピーします。ここで、コンテンツはプレーンテキストとして処理されます。

- プロセステンプレートの向上。
 - プロセステンプレートの複製機能。この機能では、プロセステンプレートの作成 ウィザードを使用してすばやく既存のプロセステンプレートを複製できます。新しいテンプレートの追加が必要になるたびにゼロから作成する必要はありません。
 - 操作性の向上。
 - チケットの詳細 ページで、承認ステータスに基づいて承認セクションが展開 / 折りたたまれます。チケットが 保留中の承認 状態の場合は、承認セクションは展開されます。すべての承認が受信されると、セクションは折りたたまれます。
 - プロセステンプレートの作成 ウィザードのプロセステンプレートの定義 ページの説明 フィールドは、使用できるテキストの量に基づいて自動的に展開されます。これにより、コンテンツを読むためにスクロールバーを使用する代わりに、フィールド全体を表示できます。
 - このプロセステンプレートに関連付けられたサービスデスクチケットが作成または変更された場合、アプライアンスではチケットが新しいステージに移行したときに毎回Eメール通知を送信するように設定することができます。このリリースでは、プロセステンプレートの作成 ウィザードのEメール通知 ページに、すべて選択 オプションが追加されます。チケットが新しいステージに入るたびにすべてのEメール受信者をすばやく選択または削除する場合は、このオプションを使用します。
- サービスデスク機能。
 - ユーザーの停止機能。このリリースから、管理者はKACE SMAでユーザーアカウントを無効にして、引き続きチケット関連付けとチケット履歴を管理し、適切な監査履歴を維持し、チケットが孤立することを防止できるようになりました。
 - デバイス自動割り当て。新しいチケットが作成されると、割り当てられたデバイスフィールドにチケット送信者のプライマリデバイスが入力されます。KACE SMAの前のバージョンで作成されたチケットでは、このオプションは空白のままです。
 - チケット承認者としての送信者のマネージャ。マネージャの承認が必要な承認ワークフローに、送信者のマネージャが承認オプションの1つに含まれるようになりました。プロセステンプレートで送信

者のマネージャが承認者として選択され、送信者にアプライアンスに割り当てられたマネージャがない場合は、次のルールが適用されます。

- ・ 承認者が複数いる場合は、送信者のマネージャは承認者のリストから削除されます。
- ・ 承認者が送信者のマネージャだけの場合は、エラーが表示されます。
- マネージャは、ユーザーポータルから従業員のチケットを表示してコメントできます。このリリースから、マネージャは従業員のチケットを表示してコメントし、スタッフに直接影響がある問題に対応できるようになりました。
- チケットからコメントと添付ファイルを編集または削除する機能。チケットキューを構成して、ユーザーはチケットに追加したコメントを編集または削除したり、エラーを修正したり、誤った情報を削除できるようになりました。コメントに関連付けられている添付ファイルも削除できます。構成に従って、自分のコメントに加えて他のユーザーのコメントも編集または削除できます。たとえば、技術者はユーザーが不注意に追加したコメントまたは添付ファイルがある可能性がある機密データを削除する必要がある場合があります。これらの変更は、チケットのアクティビティログに記録されません。
- Eメール設定の向上。このリリースから、アプライアンス用のEメール設定が向上しました。サービスデスクEメール環境設定では、サービスデスクユーザーとスタッフの間で送受信されたEメールの環境設定を迅速に構成できます。チケットキューごとに個別のEメール設定をセットアップするオプションもあります。外部SMTPサーバオプションをアプライアンスネットワーク設定で構成するときに、ネットワーク設定を保存する前にすばやくテストして、入力したパラメータが有効かどうかを確認できます。

資産管理機能

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下の資産管理機能と拡張機能を備えています。

- ・ 新しい資産管理ダッシュボード。このリリースで追加された 資産管理 ダッシュボードでは、資産使用の高レベルな概要が表示されます。このダッシュボードに含まれる資産管理ウィジェットには、選択に応じて、組織またはアプライアンスの管理対象資産の概要が表示されます。このダッシュボードを使用すると、資産の状態をすばやく確認し、資産構成を改善するためのインジケータを見つけられます。たとえば、ソフトウェアライセンスの使用に重点を置き、ライセンスの更新が必要なソフトウェアタイトルを特定します。
- ・ 資産管理のライセンスに関する新しいセクション。ライセンスでは、組織内のソフトウェアまたはハードウェアなどの論理資産または物理資産を使用できます。
 - 資産管理 に新しい ライセンス セクションが追加され、アプライアンスのライセンスに対するより効率的なアクセスを管理者に付与できます。このセクションには、ライセンスの表示および管理のリストと詳細ページが含まれます。
 - ライセンス ページへのアクセスを 役割詳細 ページの 管理コンソールの権限 から制御して、必要に応じてユーザーに固有の権限 (読み取り、書き込み、または非表示) を付与できます。
- ・ ライセンスコンプライアンスの向上。KACE SMAでは、ソフトウェアカタログインベントリのアプリケーションに関するライセンスコンプライアンス情報を表示できます。この情報は、ライセンスコンプライアンス ページおよび ライセンスコンプライアンスダッシュボード ウィジェットに表示されます。このリ

リースから、リスク列がリスクと余剰の2列に分割されます。これにより、ライセンスが不足しているかまたは余っているソフトウェア資産の数をより適切に伝達できます。

- 資産管理の契約に関する新しいセクション。契約は、ベンダーとエンドユーザーの間の購入契約の形式で、購入したアイテムの使用条件を説明します。
 - 資産管理に新しい契約セクションが追加され、アプライアンスのライセンスへのより効率的なアクセス権を管理者に付与できます。このセクションには、ラインセンスの表示および管理のリストと詳細ページが含まれます。
 - 契約セクション：
 - 顧客がハードウェアおよびソフトウェアのライセンス契約を作成およびインポートするための一貫した方法を提供します。
 - 標準フィールドを使用した定義済みの契約テンプレートが含まれ、必要に応じて、ユーザーがカスタマイズできます。
 - 契約の詳細や主要な日付でのレポートと警告をサポートします。
 - 契約をハードウェアまたはソフトウェア資産契約またはソフトウェアライセンス契約、場所、部門に関連付けることができます。
 - 契約ページへのアクセスを役割詳細ページの管理コンソールの権限から制御して、必要に応じてユーザーに固有の権限（読み取り、書き込み、非表示）を付与できます。
- 定義済みの資産ステータスの値。このリリースでは、資産の一貫したライフサイクル追跡とレポートをサポートするために、定義済みの資産ステータスの値が追加されています。アクティブ、処理済み、期限切れ、在庫、不在、修復、予約済み、使用されなくなった、盗難などがあります。これらの値の他に、内部プロセスや用語に沿って、カスタムの資産ステータス値を定義できます。

デバイス通信機能

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下のデバイス通信機能と拡張機能を備えています。

- Wake On LANの向上。Wake On LANを使用すると、管理者はKACEエージェントのインストールの有無にかかわらず、KACE SMAからリモートでデバイスの電源を投入できます。このリリースから、KACE SMAと同じサブネットまたは別のサブネットに属するデバイスの電源をオンにできます。別のサブネットに関連付けられているデバイスの電源をオンにするには、KACEエージェントをサブネットでWake-on LANゲートウェイとして指定する必要があります。
- KACE Cloud Mobile Device Manager (MDM) のKACE SMAへの統合。KACE Cloud MDMを統合して、KACE Cloud MDMデバイスを選択すると、デバイスの詳細ページの概要グループに、KACE Cloud MDMの追加のアクションセット（強制的なインベントリ更新、ロック、パスコードの設定、パスコードのクリア、デバイスの登録解除、工場出荷時にリセット）が表示されます。
- VMware ESXiホストとvCenterサーバの検出。組織で仮想VMwareベースの環境を使用している場合は、検出スケジュールを使用して、VMware ESXiホストまたはvCenterサーバを検出できます。ネットワークでVMware ESXiホストまたはvCenterサーバをスキャンし、デバイスに関する情報を取得するには、認証済み検出スケジュールを追加します。

インフラストラクチャ機能

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下のインフラストラクチャ機能と拡張機能を備えています。

- 役割ベースのアクセス制御。役割ベースのユーザーアクセスでは、管理者はユーザーの役割に関連付けられているデバイスに基づいてユーザーへのアクションを制限できます。すべてのデバイスへのアクセスを

特定の役割を持つユーザー（スコープユーザー）に付与するか、ラベルに関連付けられた選択されたデバイスだけにアクセスを付与できます。

- IPv6（インターネットプロトコルバージョン6）をサポート。KACE SMAは、標準のネットワーキング技術を使用して、管理対象デバイスと通信します。このリリースから、アプライアンスでIPv6 over IPv4インフラストラクチャをサポートします。
- オペレーティングシステムの選択の一貫性。このリリースでは、オペレーティングシステム選択メニューは、標準化され、管理者コンソールから一貫して表示されます。これは、ソフトウェアの詳細、スクリプトの詳細、OVALスケジュールの詳細（Windowsのみ）、高度な Wake On LAN設定、Macプロファイルの詳細 ページで実装されます。

製品の再ブランディング終了

Questの再ブランディングのプロセスは完了しました。

- ユーザーインターフェイスが更新され、ルックアンドフィールが新しくなりました。
- 問い合わせ先の詳細や著作権情報などの会社関連情報が更新されました。
- ファイルパス内の企業名への参照は、該当する場合は「Quest」で置き換えられています。

i 注: konea.exeの新しいパスは、アンチウイルスソフトウェアの実行をブロックする原因になる可能性があります。

解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

解決済みのKACE SMAサーバの問題

解決済みの問題	問題 ID
レプリケーション：8 MB未満のデルアップデートファイルを複製できない。	K1-19480
デバイスの詳細 ページの メモ セクションがエージェント不要インベントリが発生するたびに上書きされていた。	K1-19474
レポートが米国日付の表示にハードコーディングされていた。	K1-19472
パッチダウンロードにOPsxファイルがなかった。	K1-19471
ヘルプデスクへのEメールのスラッシュが削除されることがあった。	K1-19454
ユーザーリストページの検索が遅くなる場合があった。	K1-19450
CSR（証明書署名要求）でのSAN（サブジェクトの別名）の除外により、署名付き証明書の使用時にGoogle Chromeでエラーが表示されることがある。	K1-19443
ライセンスフィールドを含むライセンス資産のレポートを作成中にエラーが発生した。	K1-19437
デバイスの資産タイプの マップされたインベントリフィールドを なし に設定すると、強制的なインベントリ更新の実装時に.phpエラーが発生した。	K1-19436

解決済みの問題	問題 ID
チケットへの変更を保存すると、バージョン7.1以上で動作が遅くなる。	K1-19435
改行文字が含まれている場合に、スプラッシュ画面のテキストが不適切に表示された。	K1-19401
リプリケータの番号が大きい場合に、パフォーマンスが低下した。	K1-19395
所有者のみの添付ファイルがアーカイブされたチケットに表示されなかった。	K1-19345
コメントの変更の説明がチケット関連のEメールで複数回繰り返された。	K1-19340
チケットコメントからのサポート技術情報記事へのリンクが正しくないURLにリンクした。	K1-19327
強制的なインベントリ更新コマンドがシステム管理コンソールから機能しなかった。	K1-19322
満足度アンケートがチケットレイアウトで必要な場合にチケットリストからのステータスのアップデートが失敗した。	K1-19321
Verify file versionスクリプトコマンドが予想どおりに動作しなかった。	K1-19312
子がある資産の場所の削除が予想どおりに動作しなかった。	K1-19306
レプリケーションの詳細 ページへの変更の保存が遅かった。	K1-19289
sAMAccountName属性が存在しないとLDAPユーザーが作成されなかった。	K1-19284
多数のユーザーがいる組織を削除するとタイムアウトになり失敗することがあった。	K1-19237
デバイスの詳細 ページの インベントリ情報 > ハードウェア で、エージェント不要のFreeBSDベースのプラットフォームに対して BIOSのリリース日 フィールドが生成されなかった。	K1-19233
資産詳細 ページの 割り当て先 リストに、未割り当て オプションが含まれていなかった。	K1-18955
ライセンスコンプライアンス：更新されたデータタイムスタンプが自動更新で更新されなかった。	K1-18784

解決済みのエンドポイント通信の問題

解決済みの問題	問題 ID
Macエージェントの管理対象インストールプロセスでは、.appファイルは展開されたが.pkgファイルは展開されなかった。	K1-19468
エージェントのスプラッシュページのメッセージが表示されなかった。	K1-19433

解決済みの問題	問題 ID
Microsoft Windows 7 Professional SP1 32ビットシステムにエージェントが正しくインストールされなかった。	K1-19251
Linuxプロビジョニングがルート以外のアカウントで動作しなかった。	K1-18382
Windows以外のプラットフォームのCIルールでワイルドカードがサポートされるようになった。	ESMEC-2354
KBox Macエージェントでログインフックをオフにする機能が追加された。	ESMEC-1887
デフォルト以外のMac管理対象インストールでDMGをマウントする機能が追加された。	ESMEC-626



注: 管理対象インストールの詳細 ページの デフォルトのインストールのオーバーライド フィールドを構成するときに、マウントされるDMGファイルのファイルパスはコマンドラインに相対的にする必要があります。

既知の問題

このリリースの時点で以下の問題の存在が認識されています。

一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
バージョン7.xの日本語バージョンで、資産データをレポートにエクスポートすると、日付型フィールドが次の構文を使用する。「yyyy年MM月dd」	K1-19536
レプリケーションエージェントがRed Hat Enterprise Linux (RHEL) 6マシンの場合にMS Windows共有へのレプリケーションが機能しない。	K1-19535
同じ名前を持つアーカイブ済みのユーザーがいる場合にLDAPインポートが失敗する。	K1-19521
管理対象インストール (MI) 展開優先順位がソフトウェアとカタログへのソフトウェアの登録MIの間で適用されない。	K1-19512
レプリケーションが有効な場合に更新が失敗する。	K1-19510
SCAP (Secure Content Automation Protocol) スキャンで、レポートが生成されない。	ESMP-5403
OSツリーでMacシステムアーキテクチャが常にx86として表示される。	ESMP-5388
リンク済みレポート ウィザードの 手順3 でリンク済みサーバから レポートカテゴリを選択できない。	ESMP-5373
レポートの編集 ウィザードの 手順4 の変更された システムUIレポート を保存できない。	ESMP-5368

既知の問題	問題 ID
IPv6セットアップを使用してレプリケーションを作成すると、レプリケーション共有のファイルを使用できない。	ESMEC-2466
IPv6共有へのアクセスをプラットフォームごとに正規化する必要がある。	ESMEC-2464
ブラックリストに入れたMetroアプリケーションアイコンが終了後もタスクバーに残っている。	ESMEC-2380

既知のサードパーティの問題

既知の問題	問題 ID
WYSIWYG Froalaのバグ：カラーピッカー内の書式設定のクリアが機能しない。	ESMAS-4053

システム要件

KACE SMA 8.0をインストールするために必要な最小バージョンは7.2 (7.2.101) です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。

KACE SMAエージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは7.1です。

- i** 注: バージョン8.0から、アプライアンスはkmsgrプロセスを使用しなくなりました。7.0以前のコードを実行しているKACEエージェントがある場合は、次の手順のいずれかを完了する必要があります。
- サーバをバージョン8.0にアップグレードする前に、エージェントを7.1にアップグレードするか、
 - バージョン8.0でエージェントを再プロビジョニングします。アップグレードはサポートされません。

アプライアンスのバージョン番号を確認するには、管理者コンソールにログインして以下のステップのいずれかを実行します。

- 7.1以降の場合。ページの右上隅にある **サポートが必要な場合** をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた **i** ボタンをクリックします。
- 6.4.x および 7.0 の場合。ページの右上隅にある疑問符 (?) をクリックします。表示されるダイアログボックスの右下隅で、**K1000** について をクリックします。

バージョン 8.0 にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、KACE SMAの技術仕様で確認できます。

- 仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-sma/8.0/technical-specifications-for-virtual-appliances/>に移動します。
- サービスとしての K1000 の場合：<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-sma/8.0/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

サポート終了に関するお知らせ

KACE製品では、OSベンダーによるサポートの提供が終了したOSバージョンについては、サポートを終了いたします。KACEは今後もできる限り期間を延長して、オペレーティングシステムの展開および管理サービスを提

供してまいります。しかしながら、サポートが終了したOSのライフサイクルについては、サポート対象 から 制限付きサポート に移行し、最終的に サポート終了 に移行するのが最適であると考えております。

- Windows XP、Windows Server 2003、およびWindows Vistaのサポートについては、バージョン8.0のKACE SMAより サポート終了 といたします。両製品は、2016年11月1日より、制限付きサポートに移行済みです。
 - Microsoftは、Windows XP (2014年4月8日)、Windows Server 2003 (2015年7月14日) およびWindows Vista (2017年11月4日) のサポートを終了しています。
- 旧バージョンのMac OSのサポートについては、バージョン8.0のKACE SMAより サポート終了 といたします。
 - Mac OS X 10.7、10.8、および10.9
 - Appleでは、サービス終了のお知らせについては、OSバージョンに対してではなく個別のMacモデルに対して行っています。
 - 通常、新モデルの発売後まもなく、OS開発が終了します。ただし、セキュリティ更新プログラムは例外で、以前のOSバージョンに対しても提供されます。
- OSベンダーおよびKACEの両方から最適なサポートを受けるため、お使いのデバイスを最新バージョンのOSにアップグレードすることを強くお勧めします。
- 弊社は、一部のお客様が現在も旧バージョンのMicrosoft製品を使用していることを認識しています。そのため、アプライアンス内でこれらの製品の使用を可能とする仕様にはしていますが、これらのバージョンに対する開発、テスト、またはサポートの提供は行っていません。

「制限付きサポート」と「サポート終了」の違いについて

制限付きサポート と サポート終了 の主な違いは以下のとおりです。

制限付きサポート：

- このリリースまたはバージョンに対してサポートが提供されます。弊社は既知の回避策またはバグ修正の提供に最善を尽くします。
- よほどのことがない限り、新しいコード修正は生成されず、必要な場合は弊社の判断により実行します。
- 機能強化の依頼は受け付けません。
- フル サポートが提供されるリリースまたはバージョンへのアップグレードを検討することをお勧めします。
- このリリースおよびバージョンは、サポートポータルからダウンロード可能です。

サポート終了：

- 廃止または終了されたリリースおよびバージョンが含まれます。
- このリリースに関する新しいパッチまたはバグ修正は作成されません。
- このリリースは、サポートポータルからダウンロードできません。
- サポート対象バージョンへのアップグレードのためのサポートが提供されます。
- このバージョンの製品の使用に関するサポートは提供されません。

ライフサイクルポリシー

各KACE製品のポリシーと製品ライフサイクルの詳細情報、および該当するサポート期間については、主要製品のサポートページのセクションまたはタブで参照できます。

<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance>

<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-management-appliance/8.0#psPLCPanel>

製品ライセンス

現在KACE SMAの製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めてKACE SMAを使用している場合は、アプライアンスセットアップガイドで製品ライセンスの詳細を確認してください。追加のリソースに移動して、適切なガイドを確認します。



注: バージョン8.0の製品ライセンスは、バージョン6.3以降を実行するKACE SMAアプライアンスでのみ使用できます。バージョン8.0のライセンスは、KACE SMAの旧バージョン (6.0など) を実行するアプライアンスでは使用できません。

インストール手順

このバージョンを適用するには、アドバタイズされたアップデートを使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードして適用します。手順については、以下のトピックを参照してください。

- [更新の準備](#)
- [アドバタイズされたアップデートを使用したKACE SMAサーバのアップデート](#)
- [アップデートの手動によるアップロードと適用](#)
- [アップデート後のタスク](#)



注: 特定のソフトウェアを実行しているデバイスのソフトウェア検出とインストール数の正確性を確保するため、KACE SMA 7.0リリースから、ソフトウェアカタログがアップグレードごとに再インストールされます。

更新の準備

KACE SMAサーバをアップデートする前に、次の推奨事項に従ってください。

- KACE SMAサーバのバージョンの確認 :
KACE SMA 8.0をインストールするために必要な最小バージョンは7.2 (7.2.101) です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。
 - 7.1 以降の場合。ページの右上隅にある [サポートが必要な場合](#) をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた **i** ボタンをクリックします。
 - 6.4.x および 7.0 の場合。ページの右上隅にある疑問符 (?) をクリックします。表示されるダイアログボックスの右下隅で、[K1000 について](#) をクリックします。
- KACE SMAエージェントのバージョンの確認 :
KACE SMAエージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは7.1です。



注: バージョン8.0から、アプライアンスはkmsgrプロセスを使用しなくなりました。7.0以前のコードを実行しているKACEエージェントがある場合は、次の手順のいずれかを完了する必要があります。

- サーバをバージョン8.0にアップグレードする前に、エージェントを7.1にアップグレードするか、
- バージョン8.0でエージェントを再プロビジョニングします。アップグレードはサポートされません。

- 開始前のバックアップ:

データベースとファイルをバックアップして、将来参照できるようにバックアップをKACE SMAサーバ以外の場所に保存します。データベースとファイルのバックアップの詳細については、『管理者ガイド』(<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-sma/8.0/administrator-guide-japanese/>)を参照してください。

アドバタイズされたアップデートを使用したKACE SMAサーバのアップデート

管理者コンソールのダッシュボードページまたはアプライアンスの更新ページで、アドバタイズされたアップデートを使用してKACE SMAサーバをアップデートできます。



注意: アップデート中、KACE SMAサーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-sma/8.0/administrator-guide-japanese/>) を参照してください。
2. アプライアンスのコントロールパネルに移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、K1000 システム管理コンソール (http://K1000_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストからシステム を選択し、設定 をクリックします。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 更新の確認 をクリックします。

確認の結果がログに表示されます。
5. 更新プログラムが使用可能な場合は、更新 をクリックします。



重要: 最初の 10 分間、アップデートが解凍および検証されている間、一部のブラウザはフリーズしたように見える場合があります。この間に、ページからの移動やページのリフレッシュ、またはページでブラウザのボタンをクリックすると、これらのアクションによって処理が中断されるため、この間はこれらの操作を実行しないようにしてください。アップデートの解凍と検証の後、ログ ページが表示されます。アップデートプロセス中のいずれの時点でも、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

バージョン8.0が適用され、KACE SMAサーバが4回再起動します。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

アップデートの手動によるアップロードと適用

Questでアップデートファイルが公開されている場合は、そのファイルを手動でアップロードして、KACE SMAサーバを更新できます。

注意: アップデート中、KACE SMAサーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-sma/8.0/administrator-guide-japanese/>) を参照してください。
2. ログイン資格情報を使用して、Questウェブサイト (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/download-new-releases>) にログインし、KACE SMAサーバの.kbinファイル (8.0 GA (一般向け) リリース用) をダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 手動によるアップデート セクションで次の操作を実行します。
 - a. 参照 または ファイルを選択 をクリックして、アップデートファイルを見つけます。
 - b. アップデート をクリックし、はい をクリックして確認します。

バージョン8.0が適用され、KACE SMAサーバが4回再起動します。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

アップデート後のタスク

アップデートが終わったら、アップデートが成功していることを確認し、必要に応じて設定を確認します。

正常に完了していることの確認

KACE SMAのバージョン番号を表示して、正常に完了していることを確認します。

1. アプライアンスの コントロールパネル に移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、K1000 システム管理コンソール (http://K1000_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 現在のバージョンを検証するには、ページの右上隅にある サポートが必要な場合 をクリックし、表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。

セキュリティ設定の確認

セキュリティを強化するため、アップデート中は HTTP および FTP 経由のデータベースアクセスが無効になります。データベースファイルへのアクセスにこれらの方法を使用している場合は、アップデートの後、必要に応じてセキュリティ設定を変更します。

1. アプライアンスのコントロールパネルに移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、K1000 システム管理コンソール (http://K1000_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 左のナビゲーションバーで セキュリティ設定 をクリックして、セキュリティ設定 ページを表示します。
3. ページの上部で、次の設定を変更します。
 - セキュアバックアップファイルの有効化：このチェックボックスをオフにすると、ユーザーは、HTTP を使用して認証なしにデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。
 - データベースアクセスの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、ポート 3306 経由でデータベースにアクセスできるようになります。
 - FTP 経由のバックアップの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、FTP を使用してデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。

注意: これらの設定を変更するとデータベースのセキュリティが低下するため、推奨されません。

4. 保存 をクリックします。
5. KBINアップグレードの場合のみ。アプライアンスへのルートパスワード (2FA) アクセスの難度を上げます。
 - a. システム管理コンソールで、設定 > サポート の順にクリックします。
 - b. サポート ページのトラブルシューティングツール で、2要素認証 をクリックします。
 - c. 2要素認証をサポート ページで、シークレットキーの置き換え をクリックします。
 - d. トークンに関する記録を作成し、この情報を安全な場所に保管します。

テザリングが確立されている場合は、トークンがKACEサポートに提供される必要があります。詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。

追加のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント (<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-management-appliance/8.0/technical-documents>)
 - 技術仕様：製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています。
- 仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-sma/8.0/technical-specifications-for-virtual-appliances/>に移動します。

サービスとしてのKACEの場合：<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-sma/8.0/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

- セットアップガイド：仮想アプライアンスのセットアップに関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/ja-jp/kace-systems-management-appliance/8.0/technical-documents> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。
- 管理者ガイド：アプライアンスの使い方に関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/ja-jp/technical-documents/kace-sma/8.0/administrator-guide-japanese/> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報（北米以外のお客様が必要とする情報など）を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースはユニコード対応であり、すべての文字コードをサポートしています。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があり、また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、次の言語のローカライズ版が用意されています：フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語。

当社について

名前を超える存在

当社は情報技術をより促進するための探求をしています。IT管理の時間を短縮し、ビジネス革新に時間を費やせるようにするために、コミュニティ主導のソフトウェアソリューションを構築しています。データセンターのモダナイゼーション、クラウドへの素早いアクセス、データ駆動型ビジネスを成長させるために必要な専門知識、セキュリティ、およびアクセシビリティの提供をサポートします。革新の一部となるグローバルコミュニティへの Quest の促進と、顧客満足度を確実にするための当社のコミットメントを組み合わせることで、当社はお客様に真のインパクトを与え、誇りとなるレガシーを残すソリューションを提供し続けます。当社は新しいソフトウェア企業に変化していくことで現状に挑戦しています。お客様のパートナーとして、情報技術が、お客様のために、そしてお客様により設計されるよう、継続して取り組み続けます。それこそが当社のミッションであり、一体となりこのミッションに取り組んでいます。新しいQuestによろこそ。当社とともに革新を促進させましょう。

当社のブランドとビジョンと、ともに。

当社のロゴは、革新、コミュニティ、サポートという当社のストーリーを反映しています。このストーリーの重要な部分は、「Q」で始まります。これは技術的な精度と強度へのコミットを表している完全な円です。Qの空間は、コミュニティと新しいQuestに欠けている部分、つまりお客様に参加していただく当社の必要性を象徴しています。

Questへのお問い合わせ

営業窓口またはその他のお問い合わせについては、www.quest.com/contact を参照してください。

テクニカルサポートのリソース

サポートポータルでは、迅速に独力で問題を解決するために使用できるセルフヘルプツールを年中無休（24時間体制）でご利用いただけます。サポートポータルでは次のことを行うことができます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

法的情報

Copyright 2018 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept




4 Polaris Way

Aliso Viejo, CA 92656

Trademarks

Quest, KACE, and the Quest logo are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. in the U.S.A. and other countries. For a complete list of Quest Software trademarks, please visit our website at www.quest.com/legal. All other trademarks, servicemarks, registered trademarks, and registered servicemarks are the property of their respective owners.

凡例

-  **注意:** 注意アイコンは、手順に従わないと、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを示しています。
-  **警告:** 警告アイコンは、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。
-  **重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、サポート情報を表しています。

KACEシステム管理アプライアンスリリースノート

更新日 - 2018年2月

ソフトウェアバージョン - 8.0